**新町川沿いLEDイルミネーション**

世界有数のLED照明の生産地である徳島県には、100社以上の企業が製造に携わっています。徳島市では、そのノウハウを生かして、2010年代には「LEDアートフェスティバル」を数回開催し、人目を引く屋外ディスプレイの技術をアピールしてきました。徳島市の中心部を流れる新町川に架かる橋には、その名残として恒久的な照明が設置されています。日没から深夜まで毎日ライトアップされ、新町リバーサイドパークを散策しながら色とりどりのディスプレイを楽しむことができます。

**ふれあい橋**

ふれあい橋のアート作品「虹のラクーン」は、2010年徳島デジタルアートフェスティバルで受賞した2つの作品の内の1つです。徳島県出身のたほりつこさんの作品で、七色の虹をキャンバスにしています。彼女は、たぬきは幸運の兆しがあるとされる動物で、徳島に伝わる2つの民話に着想を得ました。橋の西側には、この2つの物語の情景が描かれ、中央のタヌキと合わさります。橋の東側では、巫女がタヌキを祝福しながら音楽と踊りを披露します。デザインには、文化や季節をモチーフにした様々に異なる照明パターンも取り入れています。これらには、阿波おどりや眉山、伝統工芸である藍染などの徳島のシンボルが含まれています。